

# “にもかかわらず 愛されるとき奇蹟は起きる”

- 三浦綾子の自伝『道ありき』 -



三浦綾子著「道ありき—青春編—」（新潮文庫刊）

「氷点」「塩狩峠」の作家三浦綾子をご存知でしょうか？彼女の人生。それは挫折、絶望、苦難の連続でした。戦時中軍国教師であったことからの敗戦後の絶望、自殺未遂、13年に及ぶ死の病との闘い、恋人の死。そんな彼女がなぜ多くの人に勇気と希望を与える作品を書くことが出来たのか？何が彼女を再生させ変えたのか？その人生のドラマの核心、奇蹟の物語を自伝『道ありき』を中心に分かりやすくお伝えします。ふるってご参加ください。



講師

Morishita Tatue

森下辰衛氏

令和6年 5月 26日【日】

時間 14:00~16:00 (30分前受付開始)

参加費 無料

定員 先着30名 (要事前申込)

会場 台町市民センター 多目的室  
〒193-0931 東京都八王子市台町3丁目20-1

申込 WEB申し込みフォーム又は  
お電話にてお申し込みください。



(WEB申し込みフォーム)

1962年岡山県生まれ。1992年から2006年3月まで福岡女学院短大および大学で日本の近代文学やキリスト教文学などを講義。2001年より九州各地で三浦綾子読書会を主宰。2011年秋より同代表。2006年、家族とともに「氷点」の舞台旭川市神楽に移住し、三浦綾子記念文学館特別研究員となる。2007年、教授の椅子を捨て大学を退職して以来、研究と共に日本中を駆け回りながら三浦綾子の心を伝える講演、読書会活動を行っている。著書に『「氷点」解凍』（小学館）、『塩狩峠』の続編小説『雪柳』（私家版）、『あらすじで読む三浦綾子 名著36選』編著監修に『三浦綾子366のことば』『水野源三精選詩集』（いずれも日本キリスト教団出版局）がある。NHKラジオ深夜便明日への言葉、テレビライフラインなどに出演。

主催：水のほとりキリスト教会

080-4065-1187 (担当者：川満)